

## 令和4年度 第2回学校運営協議会

- 1 日時 令和4年11月18日(金) 15時30分～17時00分
- 2 場所 本校会議室
- 3 出席者 委員、校長、教頭、首席、指導教諭、進路指導主事、総務企画部長、  
大阪府教育センター（カリキュラム開発部部長、高等学校教育推進室長、  
高等学校教育推進室主任指導主事）

### 4 議題

- (1) スクール・ミッションについて
- (2) 授業研究の取り組み状況について
- (3) 探究図書館の進捗状況について
- (4) 通級指導教室について
- (5) 進路状況について

### 5 感想、質問事項等（意見の概要）

#### 【スクール・ミッションについて】

スクール・ミッションとは、将来の社会像を見つめながら各校の存在意義や各校に期待される社会的役割、めざす学校像等を定義するものであり、本校の教育理念「共に学び、共に敬い、共に高まる」のもと、変化の激しい社会の中で、豊かな感性、確かな学力、あくなき探究心をもってたくましく生き抜く子どもたちの育成をめざす。

#### <質疑応答・意見>

- ・スクールポリシーはスクール・ミッションを達成するためのビジョンであり期間ごとに変わっていくもの、スクール・ミッションは不変のものという認識でよいか。  
→スクール・ミッションは10年ごとのサイクル、スクールポリシーは5～10年ごとのサイクルが目安。
- ・グローバルスタディーズの一環として、海外の方と交流する場を増やす計画はあるか。  
→地域の留学生が通う学校へ出向いたり、逆に留学生を本校に招いたりして、言語や文化などの交流を深めている。また、オンラインではセブ島の人たちと交流している。今年度は、アメリカの学校ともマッチングし、交流を深めようとしている。
- ・情報リテラシーに関する内容は記載しないのか。  
→学校経営計画に記載あり。スクール・ミッションには特記していないが、全教員が共通の認識をもって生徒に正しく伝えることは重要と考えている。

### 【授業研究の取り組み状況について】

本校では年間3回、教職員を対象に校内研修を行っている。8月に行われた第2回校内研修では、「思考力・判断力・表現力」の育成をめざした取り組みについて6つのブースで実践発表を実施し、教員間で意見交換を行った。各教科からの観点別評価についての取り組みを資料にまとめ、研修時に配付した。11月は授業公開月間と設定し、全教員が授業デザインシートを作成した。それをもとに公開授業を行い、教職員を8つのグループに分け、授業観察、意見交換を行った。次年度は、主体的に取り組む態度を育むための授業づくりを今年度同様、教員参加型の研修で教員の資質能力向上をめざす。

#### <質疑応答・意見>

- ・メディエーションのロールプレイングとは。

→もめごとに対してどう介入するかについて実践したり、考えて記入させたりする。「対立」をいかに「対話」に変えるかがポイントである。

### 【探究図書館の進捗状況について】

自ら問いを立て、課題解決に取り組むことを通し、社会で必要とされる力を身に付けることを目標とする探究ナビは、本校の柱の1つである。探究ナビをより充実させるためにも、生徒が進んで図書館を利用するような環境づくりが求められている。探究図書館の設置が決定してから様々な先生方に協力していただき、生徒の活躍もあり、今年度予算を獲得するに至った。現在、エレベーター工事が行われているため、大がかりな改装には取りかかれていないが、ラーニング commons のように、生徒たちが主体的、協働的に学習に取り組むことができ、また1人1台端末を活用できるような環境づくりに取り組んでいきたいと考えている。探究図書館に蔵書される本は既に400冊を選定済みである。3年後に本校が実践を発信していけるように、3年計画で探究図書館の計画を進めている。

#### <質疑応答・意見>

- ・現代の社会に求められる資質として大学で学ぶような内容を高校の段階で学んでいることは保護者目線として大変ありがたい。
- ・探究図書館の今後に期待したい。
- ・対外的なアピールはどのくらいしているのか。

→Youtubeでの発信、大学のセミナーでの発表等を行っている。

### 【通級指導教室について】

今年度、大阪府の6つの高校に新たに通級指導教室の導入が決定した。本校はその1校として、通級指導教室、通称「みちテラス」を設置している。通級指導教室は、ソーシャルスキルトレーニングを通じた自立活動の支援のための教室である。従って、学習保障や復学などを目的とするものでない。指導形態としては、授業を通常の学級で受けながら、個別の課題に応じた特別の指導を特別教室で放課後に行う。現在、既に通級指導教室が設置されている府内4校での研修などを通じ、段階的に進めている。

### <質疑応答・意見>

- ・すべての学校で行うことになっているのか。

→府から指定を受けた学校のみ。今年度新たに6校が対象になっている。

### 【進路状況について】

本校は、大学・短大進学、専門学校、就職など生徒によって多様な進路選択のある進路多様校であり、受験方式も様々である。現段階ではまだ合否結果が出ていないところも多いが、各分野の担当教員が学年と連携して講習や小論文添削、面接練習など、手厚い指導を行っている。年明けには一般入試も控えているので、進路がまだ確定していない生徒に対して引き続き進路実現のために指導を行っていく。3年生だけでなく、1,2年生に対しても、進路講演会や大学見学会などを実施し、早い段階から進路について考えていく機会を設けている。

### 6 委員より

- ・生徒指導の基準（特に学校行事の場面）についても、生徒の主体性を第一に考えてほしいという保護者の意見もある。学校を選ぶ基準として制服や身だしなみを重視する生徒が多いのも現実である。
- ・素朴な生徒が多い印象。保護者から見て安心できる環境である。